

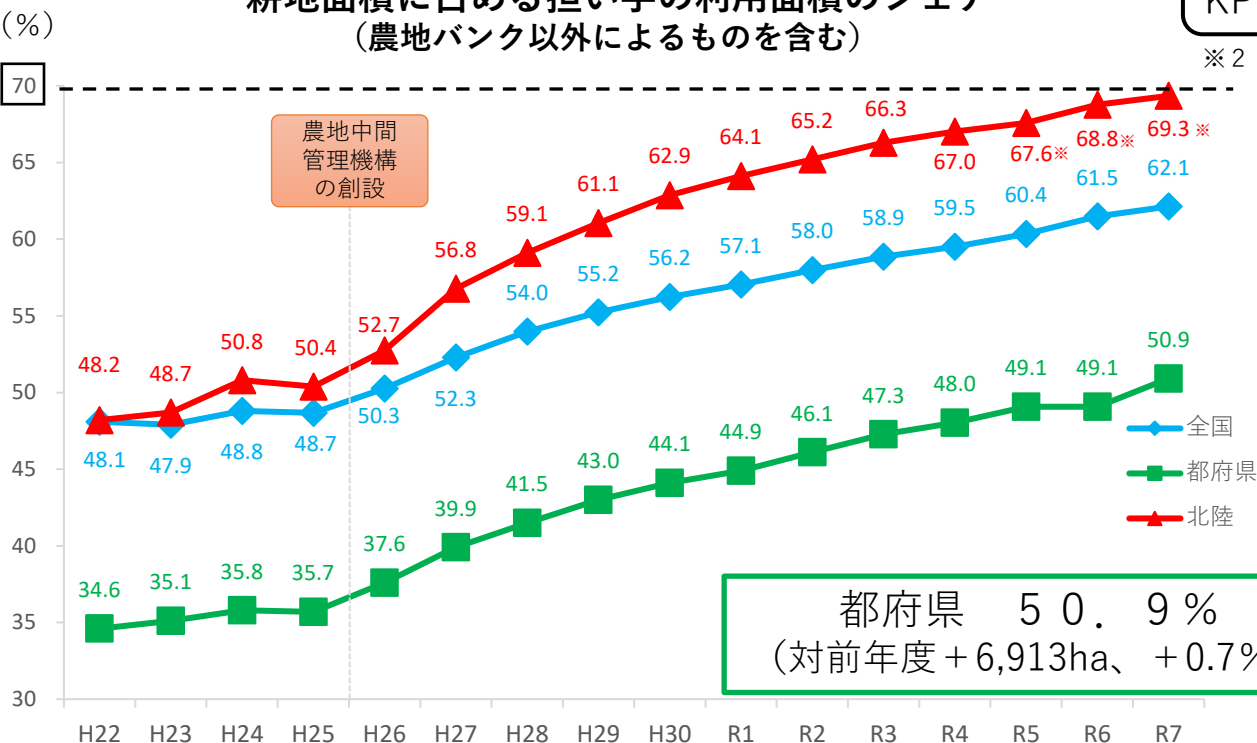
1 ブロック別の担い手への農地集積の状況

- 令和7年度の担い手※1への農地の集積面積は、**全国**で0.7万ha増加し、集積率(シェア)は**62.1%**（対前年度0.6ポイント上昇）となった。
- **北陸管内**は253ha**減少**し、集積率は**69.3%**（対前年度0.5ポイント上昇）。ブロック別では、北海道の92.9%に次いで**北陸が全国2位**となっている。

耕地面積に占める担い手の利用面積のシェア
(農地バンク以外によるものを含む)

KPI：令和12年度までに**7割**※2

※2 食料・農業・農村基本計画（令和7年4月11日閣議決定）



北陸 69.3%
(対前年度△253ha、+0.5%)

全国 62.1%
(対前年度+6,776ha、+0.6%)

都府県 50.9%
(対前年度+6,913ha、+0.7%)

全国の農地集積率（令和7年度）

ブロック	集積率
北海道	92.9%
東北	61.6%
関東	42.6%
北陸	69.3%
東海	45.7%
近畿	38.4%
中国・四国	34.2%
九州	54.9%
沖縄	30.3%

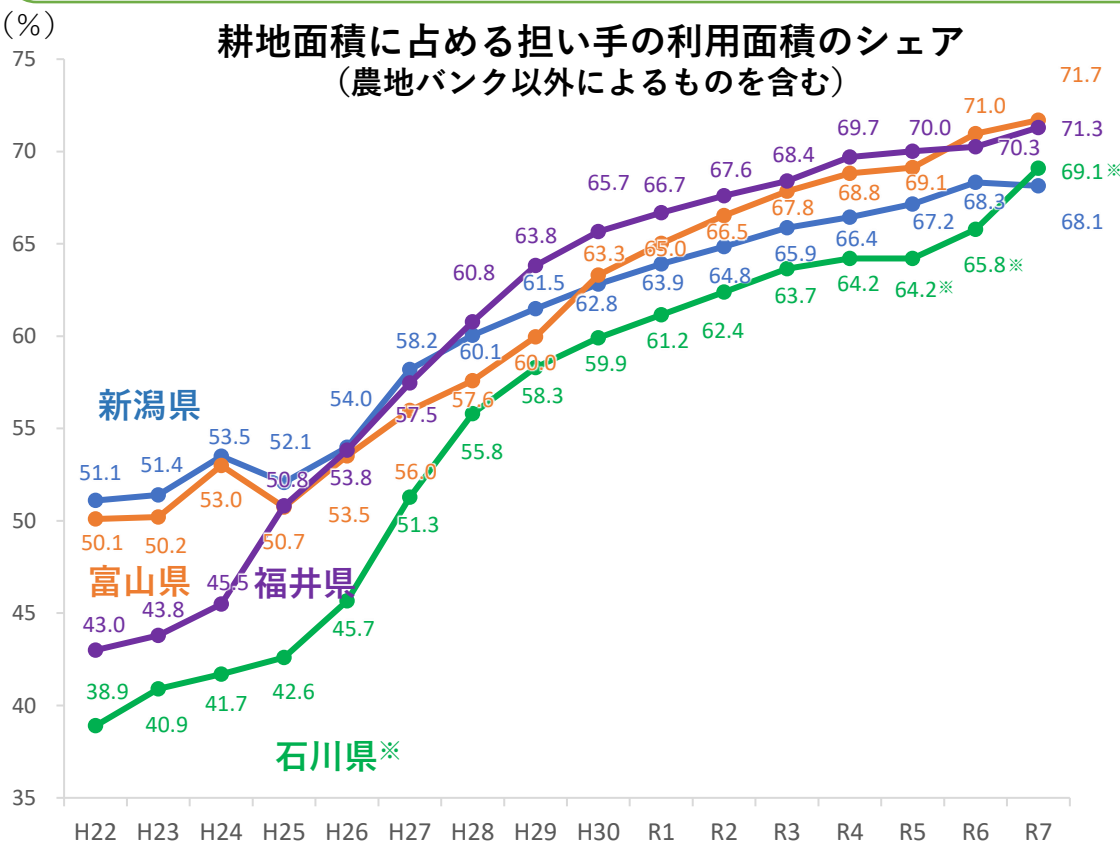
(注) 石川県においては、能登半島地震等の影響を踏まえ、令和7年度は輪島市、珠洲市、穴水町、能登町の4市町で、令和6年度は七尾市、輪島市、珠洲市、志賀町、穴水町、能登町の6市町村で調査を休止し、令和4年度の集積面積を用いて集積率を算出している。
また、令和5年度は県全体で調査を休止したため、令和4年度の集積率を据え置いている。

- ※1 担い手
- ① 認定農業者
 - ② 認定新規就農者
 - ③ 基本構想水準到達者
 - ④ 集落営農経営

(資料) 農林水産省「農地中間管理機構の実績等に関する資料」（令和7年度版）
注：各年度の3月末時点の数値

2 北陸管内の農地集積の状況（県別）

○ 北陸管内で農地の集積率が最も高い県は、**富山県の71.7%**(対前年度0.7ポイント上昇)。次いで、**福井県71.3%**（対前年度1.0ポイント上昇）、**石川県69.1%※**（対前年度3.3ポイント上昇）、**新潟県68.1%**(対前年度0.2ポイント減少)となっている



富山県 71.7%(対前年度+0.7%、+138ha)

福井県 71.3%(対前年度+1.0%、+267ha)

石川県※ 69.1%(対前年度+3.3%、△6ha)

新潟県 68.1%(対前年度△0.2%、△652ha)

令和7年度集積率 上位都道府県（全国）

順位	都道府県	担い手への集積面積(ha)	集積率(R7)	増減
1	北海道	1,052,309	92.9%	0.4%
2	山形県	81,203	72.8%	0.9%
3	佐賀県	35,685	72.5%	1.1%
4	秋田県	104,370	71.9%	0.3%
5	富山県	40,868	71.7%	0.7%
6	福井県	28,020	71.3%	1.0%
7	滋賀県	34,909	70.8%	1.7%
8	石川県	25,978	69.1%	3.3%
9	新潟県	113,111	68.1%	△0.2%
10	宮城県	81,083	65.8%	0.3%

※ 石川県においては、能登半島地震等の影響を踏まえ、令和7年度は輪島市、珠洲市、穴水町、能登町の4市町で、令和6年度は七尾市、輪島市、珠洲市、志賀町、穴水町、能登町で調査を休止し、令和4年度の集積面積を用いて集積率を算出している。

また、令和5年度は県全体で調査を休止したため、令和4年度の集積率を据え置いている。

(資料) 農林水産省「農地中間管理機構の実績等に関する資料」（令和7年度版）

注：各年度の3月末時点の数値